



キャッシュカードを 騙し取られる被害が急増中!

県下でキャッシュカードを騙し取られ、ATM等で現金が引き出される被害が多発しています。

特に、

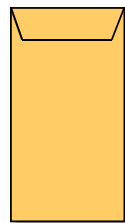
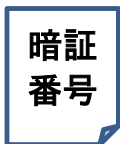
**封筒にキャッシュカードを入れさせ、
隙を見て別の封筒とすり替える手口**

が急増しています!



今回はキャッシュカードをすり替える手口について詳しく紹介していきます!

- ① 電話で「カードが偽造されている可能性がある。カードを作り変えたほうが良い。職員を自宅に向かわせる。」等と言い、警察官や金融機関職員を装って自宅に向かう
- ② 「カードを止めるので、暗証番号を書いたメモとキャッシュカードを封筒に入れるように」と指示される
- ③ 「封筒に割り印をするので印鑑を持ってきて」と指示される
- ④ 被害者が印鑑を取りに行っている間に偽物のカードが入った封筒とすり替える



すり替える!



偽物

- ⑤ 「後日別の職員が取りに来るまで保管しておくように」と伝えて立ち去る
- ⑥ 近くのATMで現金を引き出す



被害を防ぐためのポイント



◆ 家にいる間も、留守番電話設定をしましょう

犯人からの電話に出なければ、オレオレ詐欺などの被害を防ぐことができます。在宅中も留守番電話設定をして、電話の相手や用件を確認してから電話に出るようにしましょう。

◆ 「キャッシュカードを預かる」「暗証番号を教える」は詐欺！

警察官や金融機関の職員がキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞くことはありません。



◆ 公的機関を名乗る電話であっても、すぐに信用しない！

犯人は被害者が誰かに相談する機会を与えないようにするため、キャッシュカードを騙し取るまで電話を繋げたままにしようとします。不審だと感じたら、一度電話を切って事実確認をしましょう。

◆ 怪しいと思ったらすぐに相談！

一人で悩まず、すぐに家族や友人、警察に相談するようにしましょう。



ひょうご防犯ネット配信中(登録無料)

兵庫県警察本部から犯罪情報や防犯情報などをメールでお知らせしています。

QRコード、もしくは hpp@hbnp.net から登録してください。

